

史上最高値更新が視野に入ってきた米国株



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 鈍化傾向が続く米国のインフレ

S&P500種株価指数の史上最高値更新が視野に入りつつあるなど、足元で米国株の先高観が高まっています（右上図）。背景には「米景気の回復」と「米インフレ鈍化」が併存する、株式市場にとって良好なマクロ環境が整ってきたことがあります。

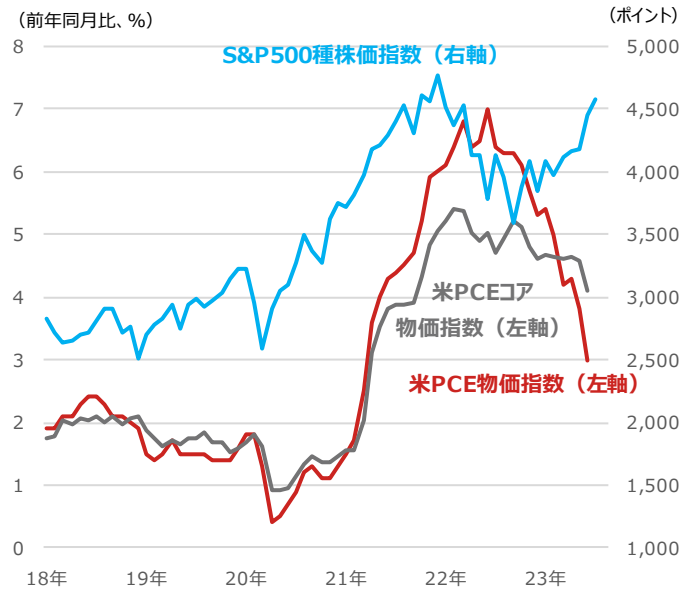
米商務省が7月28日に発表した6月の米PCE物価指数は、前年同月比で3.0%の上昇（5月は同3.8%上昇）、エネルギーと食品を除くコア物価指数も同4.1%の上昇（5月は同4.6%上昇）となり、いずれも5月から伸びが減速しました（同図）。また、同日に発表された4-6月期の米雇用コスト指数も前期比1.0%の上昇と市場予想（同1.1%の上昇）を下回り、2年ぶりの水準にまで鈍化するなど、米国のインフレが鎮静化に向かっている兆候が確認された形です。

ポイント② 米国株は史上最高値更新をトライへ

FRB（米連邦準備制度理事会）はインフレ抑制に向けて昨年3月から利上げを開始し、直近までで累計5.25%の利上げを行ないました。FRBが金融政策を決定する上で重視する米PCEコア物価指数はFRBの物価目標である2%までまだ距離がありますが、これまでの利上げの累積効果が時間差を伴って発現してくるとみられ、米インフレの伸び減速は今後も続くと考えられます（右下図）。FRBによる利上げ打ち止めの時期は近いと考えられます。

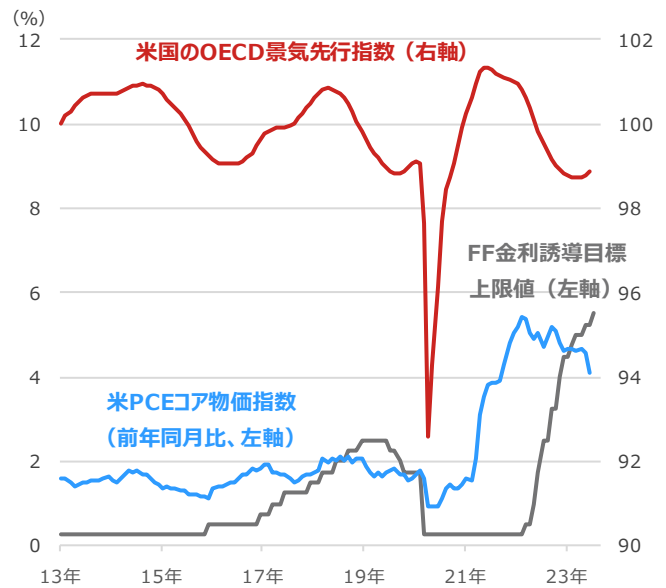
こうしたなか、米国のOECD景気先行指数は3か月連続で上昇しており、米景気の軟着陸シナリオの確度は高まりつつあります（同図）。米景気の回復は米企業業績にとってもプラスに働くとみられ、米国株は業績期待を背景に史上最高値更新をトライする展開となりそうです。

米PCE（個人消費支出）物価指数・コア物価指数・S&P500種株価指数



期間：（S&P500種株価指数）2018年1月末～2023年7月28日、月次
（その他）2018年1月～2023年6月、月次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米国のOECD（経済協力開発機構）景気先行指数・FF金利誘導目標上限値・米PCEコア物価指数



期間：（FF金利誘導目標上限値）2013年1月末～2023年7月28日、月次
（その他）2013年1月～2023年6月、月次
・FF金利はフェデラルファンド金利
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。